

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 カヤマ					
代表者名	氏名	小宮山 俊夫	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県埴科郡坂城町大字坂城4487-1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	31 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車用部分品・付属品 製造業 ① カーエアコン部品 ② 自動車部品 ③ 汎用エンジン部品 ④ その他汎用部品					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,979	1,919	1,954	1,930	2,043
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,641	3,531	3,621	3,593	3,792
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	5		5	4	3
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～ 2022 年度
------	------------------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

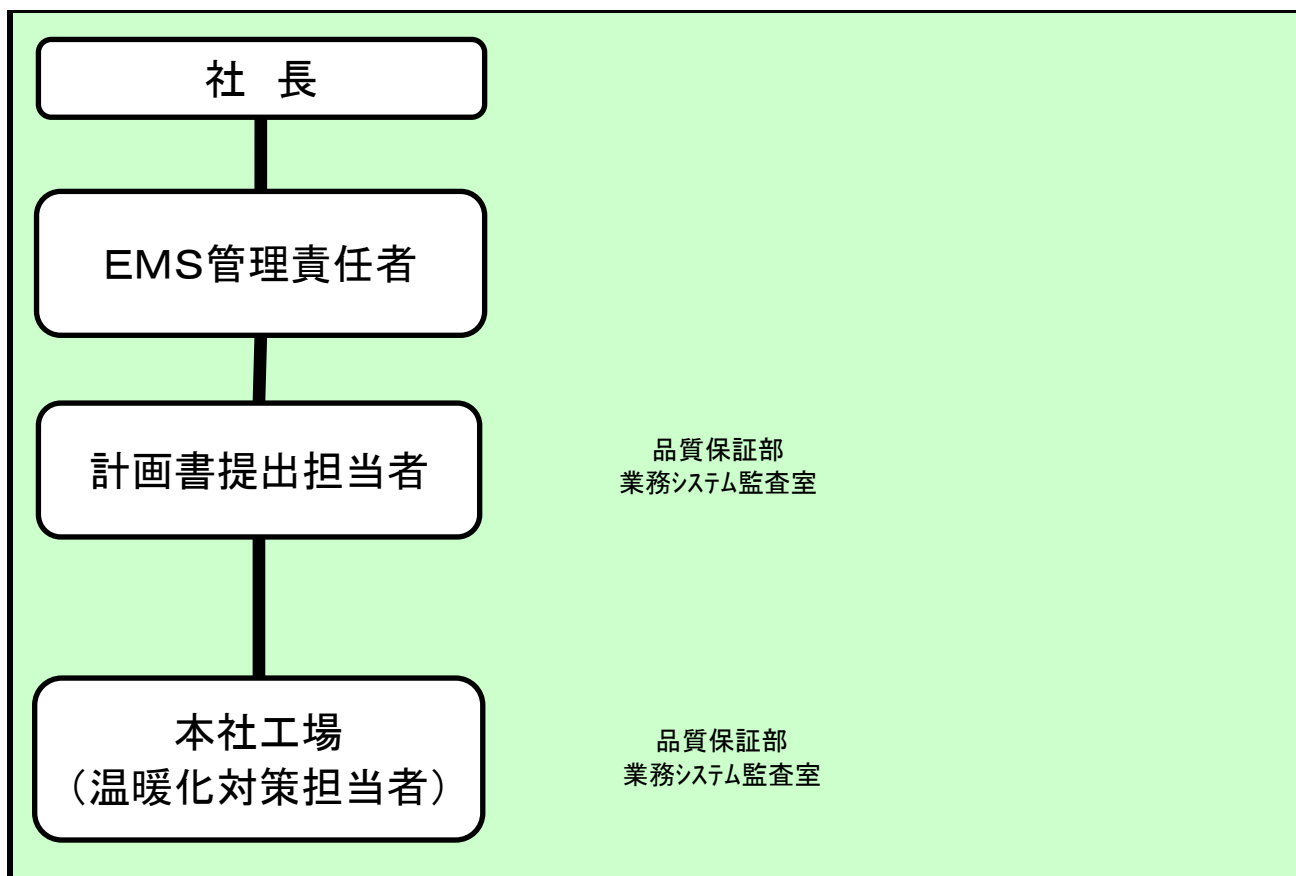
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	社外対応窓口（総務）にて閲覧可能 平日：9時～17時 TEL：0268-82-2439
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ISO14001に基づき、環境に対する目標を定め、進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

該当会議体名称なし (毎日実施の朝礼会議の中で実施)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,641	t-CO ₂	生産数量	1,410.30	単位	万台
2019年度	調整後排出量	3,641	t-CO ₂	基準原単位	2.58	t-CO ₂ /	万台
目標年度	目標排出量	3,531	t-CO ₂	目標原単位	2.50	t-CO ₂ /	万台
2022年度	目標削減率	3.02	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で3%の削減目標を達成するとともに、照明の効率化、ピーク電力カットなどの取組みを進めていく。						
第一年度	排出量	3,621	t-CO ₂	生産数量	1,066.98	単位	万台
	削減率	0.54	%	原単位	3.39	t-CO ₂ /	万台
2020年度	調整後排出量	3,621	t-CO ₂	原単位削減率	-31.40	%	
	削減率	0.54	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的半導体入手困難に伴う顧客受注の大幅減少による。 ・COVID-19による一時帰休に伴う生産数減少による。 						
第二年度	排出量	3,593	t-CO ₂	生産数量	984.51	単位	万台
	削減率	1.31	%	原単位	3.65	t-CO ₂ /	万台
2021年度	調整後排出量	3,593	t-CO ₂	原単位削減率	-41.48	%	
	削減率	1.31	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的半導体入手困難に伴う顧客からの受注の大幅減少による。 ・COVID-19に伴う世界的な需要減による。 						
第三年度	排出量	3,792	t-CO ₂	生産数量	1,189.14	単位	万台
	削減率	-4.15	t-CO ₂	原単位	3.19	t-CO ₂ /	万台
2022年度	調整後排出量	3,792	t-CO ₂	原単位削減率	-23.65	%	
	削減率	-4.15	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>生産数量は、回復傾向にあるが、基準年度の生産数量に対し84%の状況です。原単位を排出量/生産数量で算出しており、生産数量が基準年度レベルに達していない為、目標値の達成が出来ていない状況です。仮に、2022年度排出量で3%の削減量を達成させる場合、1514万台の生産量が必要となります。</p> <p>CO2排出につながる改善活動は新規テーマも追加して推進中ですが、原単位となる生産数が大幅に減少している一方で、企業生産活動において必要な基本エネルギー量(電気・燃料)が存在するため、消費エネルギー量の改善しるが少なくなっていることが直近の現状です。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			単位
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位
				原単位		t-CO ₂ /
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200	主要設備の保安全管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
2	エネ起	310300	計測及び記録の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
3	エネ起	310400	エネルギー使用量の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
4	エネ起	350602	受電端力率の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
5	エネ起	350605	受変電設備及び配電設備の保全 管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
6	エネ起	360703	コンプレッサの運転管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
7	エネ起	360705	コンプレッサの保安全管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
8	エネ起	380752	LEDの導入	2020～ 2022		2020～ 2022	
9	エネ起	330299	コンプレッサ排熱の 冬期間工場暖房への利用			2022	
10	エネ起	160202	窓の断熱性、機密性 …事務所フロア窓の2重サッシ化			2022	

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電システム	Kw	46.7	0	46.7	46.7	46.7

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,641	1	3,621	1	3,593	1	3,792
1,500k1未満								
合計	1	3,641	1	3,621	1	3,593	1	3,792

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	0
合計	1	1	1	0
自動車総数	5	5	4	3
次世代車導入割合	20	20	25	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	会社より 1km以内の社通勤社員に対しては、ノーマイカー通勤を定めている。
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	輸入品の物流ルートの合理化。…本社工場を經由せず、顧客近隣のデポ倉庫へ搬入し、デポ倉庫から顧客へ納品する方法へ変更。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2022
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>①会議室のエアコンの入替え … 3台 ②節電仕様の凍結防止帯への切替え ③夜間社内工場の間接照明点灯ルールの制定・実施 ④'23年2月10日 デマンドレスポンス取組実施</p>
--